

from the world
世界の国から

クロアチア共和国

Republic of Croatia



マルコ・ユルチッチ氏

クロアチア投資輸出促進庁
戦略企画部 部長

Mr. MARKO JURCIC
Director, Strategic Planning Division
Croatia Trade and Investment
Promotion Agency (APIU)

首都 ザグレブ
面積 5.7万平方キロメートル
(九州の約1.5倍)
人口 444万人(2007年 IMF)
政体 共和制
元首 ステイェバン・メシッチ大統領
言語 クロアチア語(公用語)、英語、
ドイツ語、イタリア語
通貨 クーナ(HRK)
日本からの主な進出企業
8社(矢崎総業、日本郵船、
他は販売代理店)



「巨大なEU市場」への物流の新たな拠点として

アドリア海の至宝といわれる美しい国

ヨーロッパ東部バルカン半島に位置し、紺碧のアドリア海に面するクロアチア共和国は、ローマ時代からの繁栄の史跡が残り、風光明媚な山河や湖沼・島々を抱えた豊かな自然が広がる美しい国です。

今回は2度目の来日となりましたが、クロアチアの魅力と可能性を紹介する多くの機会に恵まれ、有意義な3週間の滞在となりました。



ドゥブロヴニクの美しい町並み

観光立国から物流拠点・ハイテク分野へ

クロアチアは過去5年間4~5%の経済成長を続けてきましたが、昨年秋以降の世界同時不況により厳しい経済状況となっています。これまで観光が国内産業において大きな位置を占めてきましたので、1999年のコソボ紛争時に観光客が激減したのと同様の影響

を危惧しています。しかし、クロアチアは観光以外の産業にも力を入れており、2010年に正式加盟予定のEU市場における物流の拠点を目指すとともに高付加価値製品の生産基地としての経済的立場を明確にしつつあります。未来に向けて大きな可能性を秘めた国と言えるでしょう。

リエカ港と300を超すビジネスゾーン

海外からの投資を受け入れる体制作りとしてまず挙げられるのは、リエカ港の整備でしょう。過去10年にわたりゲートウェイプロジェクトを進めてきており、大型船舶の着岸が可能な港湾設備が整いつつあります。リエカ港の最大の魅力はEU市場を背後に控えた地理的優位性です。海外からの物流のターミナルとしての機能はもちろん国内で今後生産される高付加価値製品の積出港として大きな役割を担うことが期待されます。

さらに現在、300を超えるビジネスゾーン(工業団地)を国内各地に整備しています。将来的には業種別に集約した特区として、それぞれに高付加価値製品やサービスの拠点として運営していく予定です。特に50~60haの大規模ゾーンが外国企業向けに用意されており、インフラ面での高速道路、電力、



リエカ港

デジタル通信などの充実に加え、ソフト面でも高い教育を受けた人材を供給することができます。また、海外からの企業進出に関しては、ワン・ストップ・ショップ(通称ヒトロ)で会社設立が簡単に手続きできる制度も用意されています。

日本とのビジネスに期待

私は日本が大好きです。特に東京は巨大な国際都市として安心して活動できる魅力あふれる街です。美味しい日本食も堪能できました。

また、今回の来日で日本企業のクロアチアに対する友好的理解を認識することができました。わが国はすべての産業に対してオープンです。物流、ハイテクのみならず、太陽電池やバイオディーゼルの代替エネルギーなど様々な分野からの進出を期待しています。